

多賀城市市制施行50周年記念 特別展

# 史都多賀城の椿と山茶花



尾形乾山「山茶花図」




琳派を代表する尾形光琳・乾山、北大路魯山人の貴重な工芸品をはじめ、琳派を受け継ぐ近代画家として人気の高い竹久夢二から横山大観まで多彩な名品21点を展示します

特別史跡多賀城跡に自生するヤブツバキ

多賀城市の市木山茶花

市制施行50周年をともに歩んだ両花木

私たちの身近で花  を咲かせてくれた

椿や山茶花に改めて  目を向け

日々の喜び膨らむこの多賀城での

たおやかな暮らしに思いを寄せてみてください。

2021年11月1日(月)～11月30日(火)

〔開催時間〕 平日/9:00～19:00

土・日・祝日/9:00～17:00

〔図書館の開館時間/9:00～21:30〕

〔展示会場〕 多賀城市立図書館3階ギャラリー

〔料金〕 無料

〔主催〕 多賀城市

〔特別協力〕 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

※新型コロナウイルスの拡大によって、感染症拡大防止等の観点から入場制限、時短、中止等の措置を講じる場合があります。

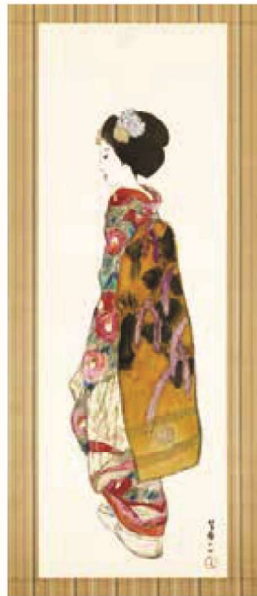




酒井抱一《藪椿鶯図》  
江戸時代 19世紀



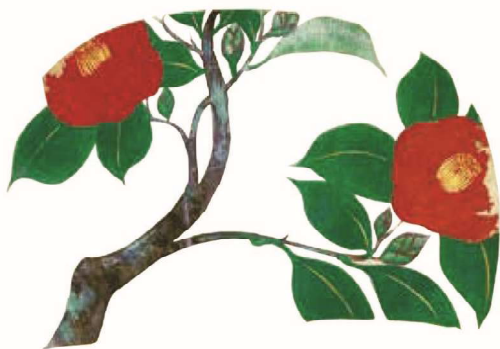
尾形光琳《椿図蒔絵硯箱》  
江戸時代 18世紀初頭



竹久夢二《舞妓》  
1915-20年(大正中期)

# 椿と山茶花

史都多賀城の  
多賀城市市制施行50周年記念特別展



尾形乾山《鏤絵椿図角皿》  
江戸時代 18世紀前半



尾形乾山《山茶花図》  
江戸時代 18世紀前半



尾形光琳《紅椿図団扇》  
江戸時代 18世紀初頭



尾形乾山《色絵椿文四方向付》  
江戸時代 18世紀前期

## 「日本書紀」にその名が登場する椿。

「万葉集」には椿の和歌が9首あり、そのうちの2首は、按察使鎮守將軍として多賀城に赴任した大伴家持が詠んだものです。

あしひきの 八つ峰の椿 つらつらに  
見とも飽かめや 植ゑてける君

巻第20 4481番 大伴家持

その紅白の花と常緑から吉祥木として古くから人々に親しまれ、時には薬草として、また種からは油を、そして神事にも使われました。

そのため、都が置かれた上方の社寺には銘椿も多く、室町時代以降に発展した茶の湯では、椿が茶花として大変重宝されたことから文化の中心地には椿が分布しています。多賀城跡には藪椿が多く自生していることから、かつて文化の中心地であったことを彷彿とさせます。

一方、椿と同属の山茶花は、昭和46年11月1日、市制施行の記念に、一般の方からの募集によって市木に選ばれました。11月に開花する山茶花は市の誕生にふさわしく、その花や木の姿は、市の発展を表しています。花言葉は「困難に打ち勝つ、ひたむきさ」。

本展は、椿をテーマとした美術品の収集で知られるあいおいニッセイ同和損害保険株式会社のコレクションから、琳派を代表する尾形光琳・乾山や北大路魯山人の貴重な工芸品をはじめ、琳派を受け継ぐ近現代画家として人気の高い横山大観や竹久夢二など多彩な名品21点を展示します。

多賀城で暮らす私たちのそばで、いつも緑をたたえ、季節には必ず花を咲かせる椿と山茶花。

美術と工芸の総合芸術といわれる琳派の作品は、日常生活に用いられる道具に花木や鳥獣を施すことで、季節を表現し観る者の心に情感を醸します。

世界のファンを魅了する作品をご覧くださいませ。

## 〈交通のご案内〉

[電車] 仙石線/多賀城駅北口 徒歩1分(仙台駅から20分)

[車] 多賀城ICまたは仙台港北ICより10分(駐車場:市営駐車場)

